

2021.9

令和3年（2021年）度
前期学校評価

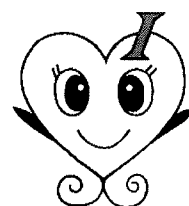
（よりよい学校づくりのためのアンケート調査）

結果の概要



東小・中合同入学式

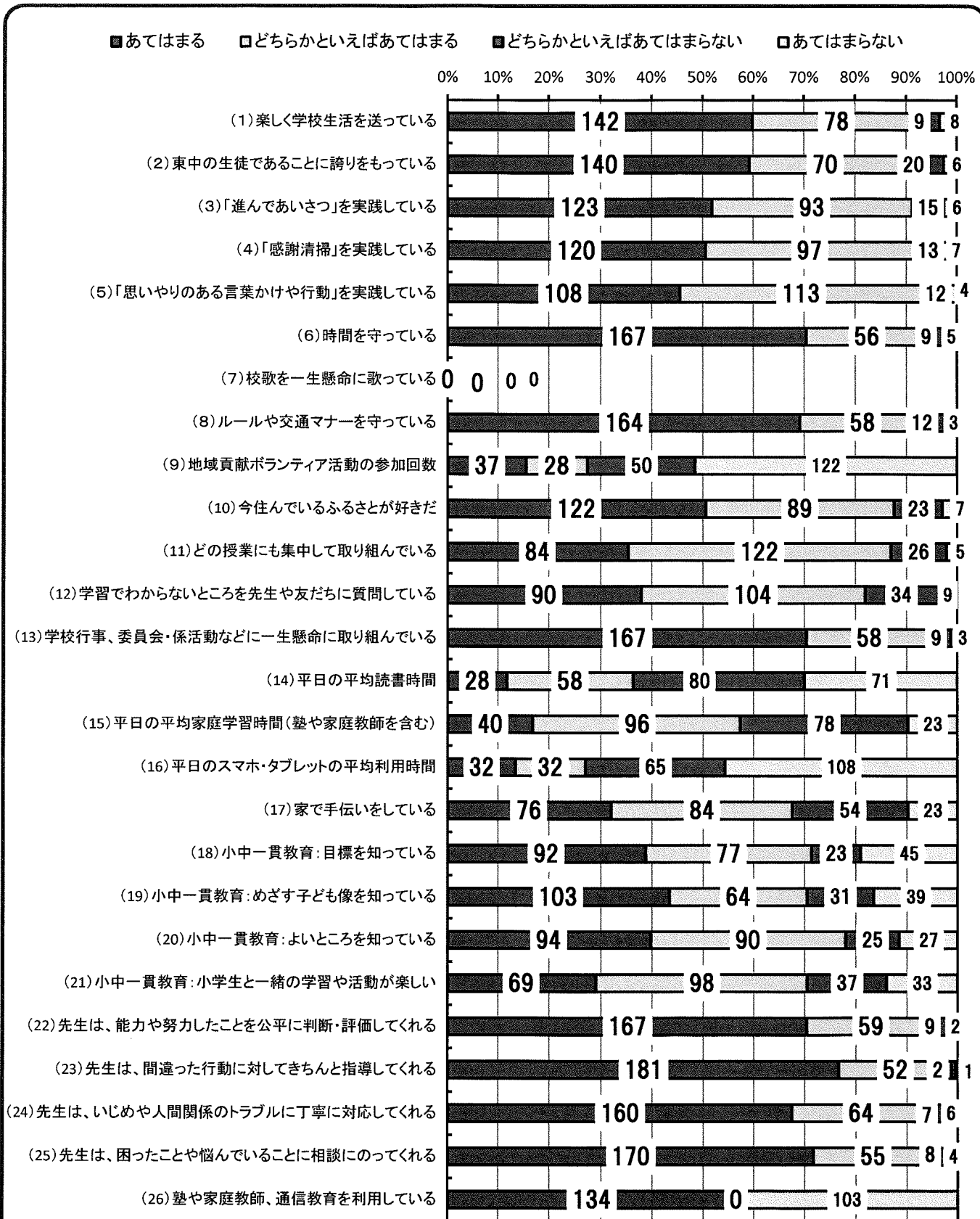
岩国ひがし学園
岩国市立東中学校



令和3年度 前期学校評価 生徒用 集計結果（全校） 2021.7

※ 数値は回答者数 横軸はその割合(%)

回答率 94.5%



※ (9)は左から、 3回以上 ・ 2回 ・ 1回 ・ 0回
 ※ (14)は左から、 1時間以上 ・ 30分以上1時間未満 ・ 10分以上30分未満 ・ 10分未満
 ※ (15)は左から、 2時間以上 ・ 70分(80, 90分)以上2時間未満 ・ 30分以上70分(80, 90分)未満 ・ 30分未満
 ※ (16)は左から、 30分未満(持っていない) ・ 30分以上1時間未満 ・ 1時間以上2時間未満 ・ 2時間以上

令和3年度 前期学校評価 保護者用 集計結果（全校）

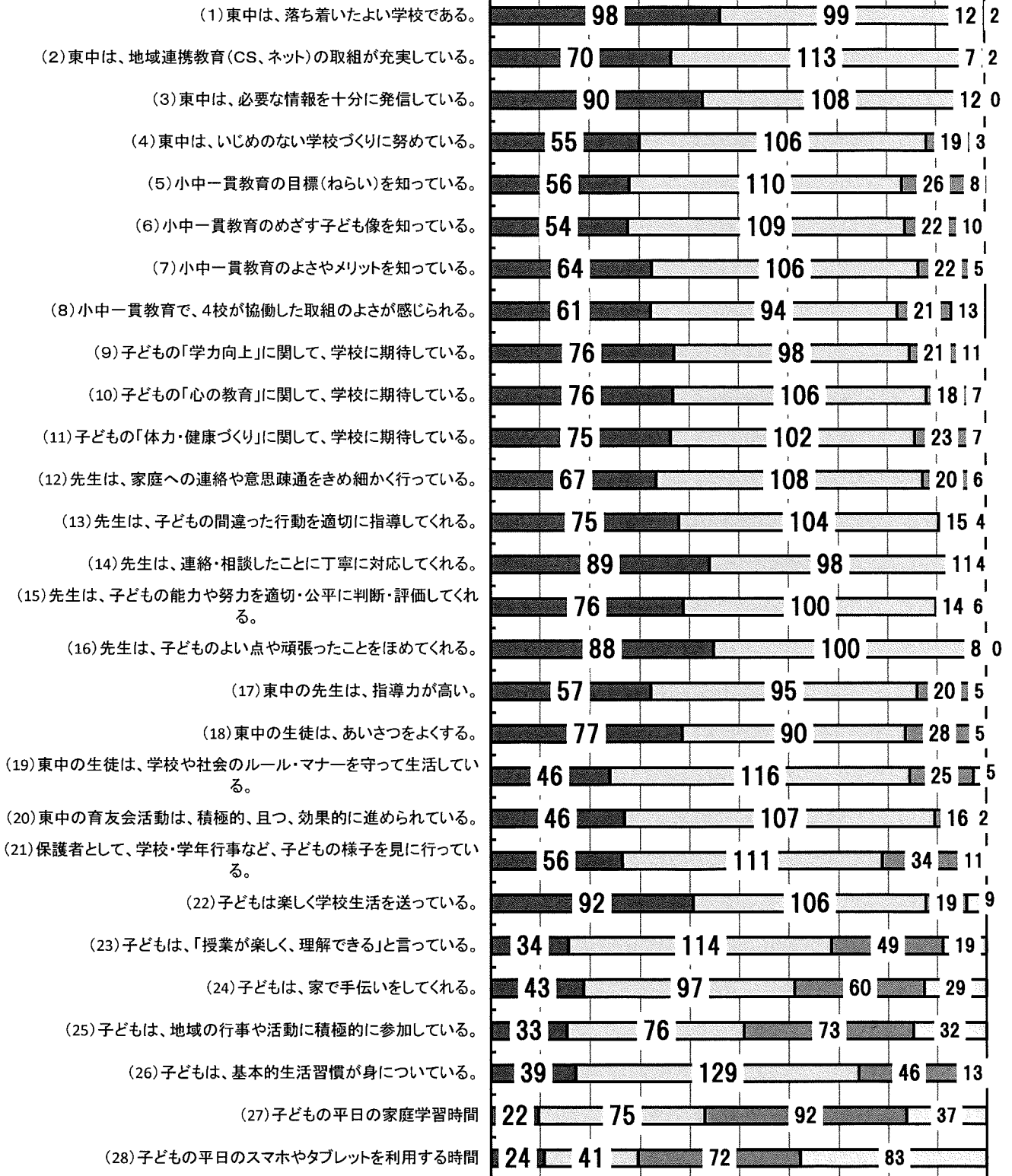
2021.7

※ 数値は回答者数 横軸はその割合(%)

回答率 89.8%

■あてはまる □どちらかといえばあてはまる ■どちらかといえばあてはまらない □あてはまらない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



※ (27)は左から、2時間以上・70分以上2時間未満・30分以上70分未満・30分未満、していない
 なお、70分は1年生の基準。2年生は80分、3年生は90分に置きかえる。

※ (28)は左から、持っていない・30分未満・30分以上1時間未満・1時間以上2時間未満・2時間以上

◎ アンケート集計結果の概要（P1, 2のグラフを参考にしてください）

- (1) 実施時期 7月12日（月）～7月19日（月）
 (2) 対象者数 生徒：255名 保護者：255名
 (3) 回答率 生徒：94.5% 保護者：89.8%
 (4) 集計結果（平均ポイントにおける上位・下位各7項目）
 ※ 4・3・2・1評価で、満点は4点、平均は2.5点です。
 ※ 4・3・2・1評価の数値の単位は%です。（小数点以下四捨五入）

① 生徒

上位	質問項目	平均ポイント	4評価	3評価	2・1評価
1	先生は間違っただ行動を指導してくれる	3.75	77	22	1
2	先生は困ったことなどに相談にのってくれる	3.65	72	23	5
3	先生は公平に判断・評価してくれる	3.65	70	25	5
4	私は行事・委員会・係活動に一生懸命	3.64	70	24	5
5	私は時間を守っている	3.62	70	24	6
6	私はルールやマナーを守っている	3.62	70	24	6
7	先生はトラブルにすぐに対応してくれる	3.60	68	27	5

下位	質問項目	平均ポイント	4評価	3評価	2・1評価
1	地域貢献ボランティア活動への参加	1.92	16	12	73
2	スマホなどの利用時間	1.95	14	14	73
3	平日の読書の時間	2.18	12	24	64
4	平日の家庭学習の時間	2.65	17	41	43
5	家で手伝いをする	2.90	32	35	32
6	小学生と活動するのが楽しい	2.86	29	41	30
7	小中一貫教育 目標の認知度	2.91	39	32	29

② 保護者

上位	質問項目	平均ポイント	4評価	3評価	2・1評価
1	先生は子どもの頑張りを褒めてくれる	3.41	45	51	4
2	東中は落ち着いたよい学校である	3.39	46	47	7
3	学校からの情報発信が充実している	3.37	43	51	5
4	先生は相談に丁寧に対応してくれる	3.35	44	49	7
5	地域連携教育が充実している	3.31	43	50	7
6	先生は子どもを適切に指導してくれる	3.26	38	53	10
7	先生は子どもを適切・公平に判断・評価してくれる	3.26	39	51	10

下位	質問項目	平均ポイント	4評価	3評価	2・1評価
1	子どものスマホなどの利用時間	2.03	11	19	70
2	子どもの家庭学習時間	2.36	10	33	57
3	子どもは地域行事に参加している	2.51	15	36	49
4	子どもは家で手伝いをしてくれる	2.67	19	42	39
5	子どもは授業が楽しく、理解できると言う	2.76	16	53	31
6	子どもは基本的な生活習慣が身についている	2.86	17	57	26
7	授業参観などで子どもの様子を見る	3.00	26	52	21

(5) 項目ごとの結果について

肯定評価（4・3の合計）が90%以上は、
生徒が 25問中 11問、保護者が 28問中 6問であった。
 それが80%以上となると、
生徒が 15問、保護者が 21問で、おおむね肯定的な評価が多かった。
 しかし、肯定評価が50%に満たない項目は、**生徒が 3問、保護者が 2問**であった。いずれも昨年度に引き続いて課題となっており、改善されていない。

【生徒、及び、保護者共通質問項目】 ※ \、/は昨年度後期評価との比較

	共通質問	生徒 (R2後期)	生徒 (R3前期)	保護者 (R2後期)	保護者 (R3前期)
1	先生の適切な指導	3.78	3.75↓	3.30	3.26↓
2	楽しい学校生活	3.65	3.49↓	3.37	3.24↓
3	ルール・マナー	3.70	3.62↓	3.13	3.06↓
4	先生の公正な判断・評価	3.67	3.65↓	3.32	3.26↓
5	先生のトラブルへの丁寧な対応	3.62	3.60↓	3.39	3.35↓
6	授業が楽しく、よくわかる (授業評価より)	3.46	3.43↓	2.85	2.76↓
7	あいさつ	3.40	3.41↑	3.15	3.20↑
8	思いやりのある言動 いじめのない学校づくり	3.53	3.38↓	3.10	3.16↑
9	小中一貫教育 よい点・メリ ットの理解	3.28	3.06↓	3.01	3.16↑
10	家で手伝い	3.02	2.90↓	2.75	2.67↓
11	小中一貫教育 めざす子供 像の理解	3.00	2.98↓	3.07	3.06↓
12	家庭学習時間	2.93	2.65↓	2.56	2.36↓
13	小中一貫教育 目標の理解	2.95	2.91↓	3.10	3.07↓
14	スマホなどの利用時間	2.01	1.95↓	2.16	2.03↓

【その他の質問項目】

生徒

- 「東中の生徒であることに誇りをもっている」について、89%が肯定評価であるが、昨年度後期比、評価ポイントが下降している。(←0.16) コロナ禍であるが、様々な活躍できる場面を設定し、自己肯定感を高めたい。
- 「感謝清掃」について、92%が肯定評価であるが、昨年度後期比、やや下降している。(←0.09) 昨年度から清掃目標は「感謝清掃」にバージョンアップし、生徒は意識して清掃活動に取り組んでいる。しかし、新校舎ではあまり汚れが目立たず、ゴミも少ないことからやや意欲に欠けていることが考えられる。
- 「時間を守る」については、94%が肯定評価であるが、昨年度後期比、下降している。(←0.12) 小学生との共同生活で不規則なチャームであるが、徐々に慣れてきている。下校時刻でやや遅れ気味になる生徒がいることが課題である。
- 「ふるさとが好き」について、88%が肯定評価であるが、昨年度後期比、下降している。(←0.12) コロナ禍ではあるが、小中一貫教育目標でもあり、相互交流活動を行い、ふるさと愛する気持ちを高めさせ、100%にしたい。

- 「授業に集中して取り組んでいる」について、87%が肯定評価であるが、昨年度後期比、下降している。(－0.15) 生徒は、全体には授業に落ち着いて取り組んでいるが、一部、意欲をなくしたり、私語があったりする生徒がいる。また、「わからないことを質問する」は肯定評価が82%、「家庭学習時間」については、肯定評価が57%と低く、授業内容の理解と定着が課題である。今後は特に、宿題・復習・予習など、家庭学習を充実させる必要がある。
- 「小学生との交流活動は楽しい」について、肯定評価が70%にとどまっている。コロナ禍であり、十分な交流活動が行えていない。施設一体型の小中一貫教育校であり、2学期は可能な限り小学生との交流場を設定していきたい。
- 「学校行事、委員会活動、係活動に一生懸命に取り組んでいる」について、94%が肯定評価であるが、昨年度後期比、やや下降している。(－0.09)
- 先生の指導に対する評価：「公平に判断・評価、間違っただ行動をきちんと指導、トラブルに丁寧に対応、困ったことや悩んでいることへの相談」はいずれも昨年度に引き続き高い評価ポイントであった。教員がいわゆる、「ま(任せて)・ほ(褒めて)・う(受け止める)」という合い言葉で指導・支援にあたっていることがうかがえる。引き続き、信頼される教師をめざして指導にあたりたい。
- 生徒には「通塾(または、家庭教師)」について質問したところ、全校で57%の生徒が通塾(あるいは、家庭教師)を活用していることがわかった。
※ 7年：47%、8年：54%、9年：69%

保護者

- 「東中は落ち着いたよい学校」について、93%が肯定評価であるが、昨年度後期とほぼ同値である。しかし、一日の生活の中で、全体の場を乱すような言動はなく、授業や諸活動をよく頑張っている。
- 「学力向上で学校に期待している」について、84%が肯定評価であるが、昨年度後期比ではやや下降している。(－0.1) 今後は、恵まれた学習環境のもと、教員の授業力・指導力を向上させ、保護者の期待に応えたい。
- 「心の教育で学校に期待している」について、88%が肯定評価であるが、昨年度後期比ではやや下降している。(－0.08) 今後は、道徳教育や諸活動をはじめ全ての教育活動の中で、生徒の心を育てていきたい。
- 「体力・健康づくりで学校に期待している」について、86%が肯定評価であるが、昨年度後期比ではやや下降している。(－0.1) グラウンドが1月に完成すれば十分な体力向上に向けた活動が期待できる。
- 「家庭への連絡や意思疎通」について、87%が肯定評価であるが、昨年度後期比ではやや下降している。(－0.13) 今後は、さらにきめ細やかにご家庭と連絡を密にしていきたい。
- 「先生は子どもの頑張りを褒めてくれる」について、96%が肯定評価であり、昨年度後期とほぼ同値である。この質問に対する評価が例年高い。教員は、平素から、「ま・ほ・う」の言葉を意識して指導・支援に当たっている。
- 「東中の先生は指導力が高い」について、86%が肯定評価であるが、昨年度後期比ではやや下降している。(－0.08) 学習指導・生徒指導ともに、お互いの切磋琢磨により指導力を向上させ、期待度を100%にしていきたい。
- 「育友会活動は積極的、且つ、効果的である」について、89%が肯定評価であり、昨年度後期とほぼ同値である。コロナ禍、様々な活動が中止となった1学期であったが、保護者の皆様のご理解とご協力に感謝している。
- 「授業参観などで子どもの様子を見に行く」について、79%が肯定評価であるが、昨年度後期とほぼ同値である。近年、お仕事をされる方が増え、なかなか来校できない状況が見て取れる。新校舎の影響で若干増えているように感じる。
- 「子どもは基本的な生活習慣が身についている」について、74%が肯定評価であるが、昨年度後期比ではやや下降している。(－0.09) 近年、スマホの所持率が上がり、使用時間が増え、生活リズムを崩したり、トラブルに巻き込まれ

たりする等のケースが増えている。今一度、基本的な「早寝・早起き・朝食」、そして、「あいさつ・時間・礼儀・言葉遣いなど」が確実に身につくよう指導をしていきたい。

- (6) 学年ごとの集計結果を見ると、肯定評価（4・3評価）の差が顕著に（10%以上の差）表れている質問項目は次のとおりである。しかし、一般には、肯定評価が80%を超えると、「概ねよい状況にある」と言われています。

生徒

質 問	低い学年	肯定評価	高い学年	肯定評価
地域貢献ボランティアへの参加	8年	13%	9年	55%
小学生との活動が楽しい	9年	53%	7年	82%
小中一貫教育のよいところを理解	9年	63%	7年	89%
平日の家庭学習時間	8年	47%	7年	68%
先生は困ったこと等に相談にのってくれる	9年	86%	8年	99%
先生はいじめなどのトラブルにすぐ対応してくれる	9年	85%	7年	99%
小中一貫教育目標を知っている	9年	65%	7年	79%
小中一貫教育のめざす子ども像を知っている	9年	64%	7年	76%
先生は能力や努力を公平に評価・判断してくれる	9年	87%	7年	99%

保護者

質 問	低い学年	肯定評価	高い学年	肯定評価
「学力向上」で学校に期待	8年	74%	7年	95%
平日の家庭学習時間	7年	36%	9年	56%
いじめのない学校づくり	9年	81%	7年	99%
小中一貫教育のよさが感じられる	9年	77%	7年	92%
東中の先生は指導力が高い	9年	77%	7年	94%
子どもは家で手伝いをしてくれる	7年	55%	8年	70%
先生は子どもの間違った行動を適切に指導してくれる	9年	86%	7年	99%
小中一貫教育のよさやメリットを知っている	8年	79%	7年	92%
先生は子どもの能力や努力を適切・公平に判断・評価	9年	86%	7年	99%
「体力・健康づくり」で学校に期待	9年	82%	7年	94%

今後、教職員による4部会（学び・こころ・からだ・つながり）、並びに、学校運営協議会において、結果を分析し、改善策・対応策をまとめ、実践します。また、3小学校と結果を共有し、協力して取り組んでいきます。

【特に対応が急がれる項目】

- 読書時間を増加させる。
- 家庭学習時間を増加させる。
- スマホなどの利用時間を減少させる。（メディア・コントロール） ※学習への活用は除く
- 地域行事への参加、地域貢献ボランティア活動を充実させる。 ※コロナ禍
- 楽しく、わかりやすい授業を行う。
- 小中一貫教育の目標、めざす子ども像、メリットなどの発信と周知、意識化を行う。